

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0405	クリーンエネルギー推進事業

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 23 年度 ~ 平成 26 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------------

《事業目的》
クリーンエネルギーの推進

《事業開始の背景》

《事業概要》
・住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金
住宅用発電システムの設置者（市内電気事業者等が設置するものに限る）に、太陽電池の最大出力 1 k W 当り 2.4 万円、上限額 10 万円を補助する。

市民参画の有無 []

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

	項 目	単位	区分	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(計画)
①	住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金交付者数	件	目標	65	80	70
			実績	67	84	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	建設部	都市政策課	及川昌規	546

	25 年度	当初(現計)	補 正	25 年度	26 年度
事業費	7,945				
財源内訳	国庫支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,945			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

■ 住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金 7,945 千円
【補助額】 1 k W あたり 24 千円補助。ただし、上限 100 千円
※千円未満は切り捨て

申請者

→ 申請

← …… 交付決定

→ 請求

← …… 補助金交付

市

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0405	クリーンエネルギー推進事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	人と自然が共生できる環境づくり
	2		2-3	
目的	クリーンエネルギーの推進			
対象	市民			
意図	環境に対する市民の意識が高まる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

・住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金
住宅用発電システムの設置者（市内電気事業者等が設置するものに限る）に、太陽電池の最大出力1kW当り2.4万円、上限額10万円を補助する。

市民参画の有無 []

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金交付者数	件	計画	65	80	70
			実績	67	84	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金交付者数	件	目標	65	80	70
			実績	67	84	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

申請が予算枠に達したため、年度途中で申請を締め切った。昨今の電力事情や環境への意識の高まりにより、太陽光発電システムは注目を集めており、設置者が予想を上回った。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

平成23年度の受付にもれた方⇒平成24年度で受け付けてほしい⇒平成24年度で受け付ける。
H24・25でも同様の要望があり、次年度において対応している。

目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市民の環境に対する意識の高揚、クリーンエネルギーの普及を図るため、市民が住宅用太陽光発電システムを設置する場合に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する制度であり、公共関与は妥当である。
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	昨今の電力事情や環境への意識の高まりにより、太陽光発電システムは注目を集めている。平成23・24・25年度も予算枠を使い果たした。
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	これまでの事業推進により、太陽光発電システムへの注目度を向上させることができたと思われる。 今後は、補助金制度を終了させたとしても設置件数は伸びていくものと予想される。
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	申請は先着順としており、予算額に到達した場合、申請受付は打ち切りとなるため、早いもの勝ちでは不公平感がある。

《総合評価》…上記評価結果の総括

国の補助制度も終了したが、これまでの事業推進により一般市民に広く定着した。花巻市内においてもクリーンエネルギーへの意識の高揚がなされたものと思われる。
消費税増税になり設置件数は伸び悩むものと思われたが、今年度も昨年度以上の設置件数があったことから、補助金を終了しても設置件数は増加するものと予測される。